

「西郷どん」史跡めぐりバスツアー 好評実施中です



●暑い中、熱心にメモを取る人も

鹿児島市内の西郷隆盛ゆかりの地を解説付きでまわる「西郷どん」史跡めぐりバスツアー、6月と7月に実施し、毎回好評をいただいているます。

南洲寺、野屋敷跡、西郷家の墓、城山、南洲墓地、西郷南洲顕彰館。全て巡ったことはありますか?このバスツアー、9月・10月・11月・12月も開催します。ぜひご参加ください。

■実施日：9月16日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、
12月16日(土)

温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。

■MBCラジオ「賢治先生のふるさと歴史館」 放送開始から220回を超えました

MBCラジオで毎週土曜日(17:10~17:25)に放送中の「賢治先生のふるさと歴史館」が平成25年の放送から今年7月で放送220回を超えるました。重盛アナと福田賢治特別顧問の毎回絶妙な掛け合いで歴史を楽しく紹介しています。番組では先生への質問も募集しています。詳しくはMBCのホームページをご覧ください。



●「毎回の収録はとても楽しい」と話す福田顧問

■自由研究 歴史の質問受けつけます!

小中学生の皆さん、夏休みの自由研究で疑問に思うことがあれば、ぜひ8月の毎週水曜日は当館へお越しください。当館スタッフがお答えしますよ。「薩摩と琉球のかかわりを教えてください」や「郷中教育について詳しく教えてください」など、毎年多くの疑問が寄せられます。10月下旬からは小学生社会科の夏休み自由研究の優秀作品も展示予定。こちらもご期待ください。

西郷隆盛

命もいらず 名もいらず

命も名も捨てて国難に立ち向かった「伝説の男」の生涯。

己を捨てて義と至誠の精神に生きた西郷は、日本の伝統的な価値観を貫き"徳"による国家を建設しようとした。西郷の偉大な生涯をたどり、現代の日本人がいかに国難に対処すべきかの指針を示す1冊です!

2018年大河ドラマに先駆けて、西郷さんの生き方を学んでみませんか?維新ふるさとショップには、西郷や明治維新関連の書籍が36種類揃っています。



●明治維新関連書籍も充実

維
新
ふ
る
さ
と
シ
ヨ
ツ
プ

明治維新を分かりやすく、楽しく

ISHIN 維新

維新ふるさと館情報紙
【No.22】

■平成29年(2017年)夏季号
■発行:鹿児島市維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
<http://www.ishinfurusatokan.info>

西郷家祖先の墓と菊次郎



西郷家の墓(鹿児島市常盤町)

維新を歩く

西郷家は肥後の菊池氏を祖としているが、鹿児島に入ったのは元禄時代の頃で、西郷九兵衛が初代である。西郷隆盛は九兵衛から数えて7代目に当たる。西郷家の墓は代々南林寺にあったが、大正11年に南林寺墓地から常盤町千眼寺跡の墓地に移され現在に至っている。

薬師一帯は、かつては「尾畔」と呼ばれた桜の名所で、田ノ浦から磯天神へかけての桜の名所と同様、鹿児島を代表する二大景勝地であったと「三国名勝図絵」に記されている。

この地に西郷家の墓地を移転したのは西郷菊次郎で、当時、薬師町に屋敷を求めて晩年を過ごしたことから、自宅に近いところに墓を移したのである。菊次郎は大正8年12月に永野金山の鉱業館長を退職した後は薬師町で過ごし、昭和3年11月27日、68歳でこの地で没している。

最近、この西郷家墓地を訪れる人が多くなっている。鹿児島市は大正年間、人口増加に伴う都市開

発のため、南林寺墓地にあった11万基から12万基の墓すべてを、草牟田や興國寺跡、郡元、武岡など市内数カ所に分散移転させた。

引き取り手のいない偉人など由緒ある人物の墓50余基は、西郷と錦江湾に入水した月照の墓がある南洲寺の隣に、「由緒墓」としてまとめられている。由緒墓には薩摩の歴史上有名な多くの人物の名前が並んでいる。

常盤の千眼寺跡の西郷家墓地の入り口には、西郷菊次郎が南林寺からここへ墓地を移転改葬したことを刻んだ碑があり、初代九兵衛をはじめ、吉兵衛、覚左衛門などの歴代当主や西郷の祖父龍右衛門、父、母、それに弟の吉二郎夫妻、小兵衛の妻子の墓など23基が整然と並んでいる。また、墓地の一角には、西郷菊次郎一家の墓もあり、それには戦後日本の復興に貢献した総理大臣吉田茂の揮毫による「西郷家之墓」と刻んだ墓標も立っている。

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)

西郷どんとさるく 温故維新マップ

ふる故きを温ねて維新を知る



右ひじの怪我から、学問にいつそう励むようになつた西郷どん。上申した意見書が藩主斎彬公の目に留まり、下級武士ながら江戸勤務の「庭方役」に大抜擢。その存在感を發揮していきました。ところが、取り立ててくれた斎彬公が急死し、失意のどん底に。近衛家から保護を頼まれていた月照上人を匿うことができなくなり、共に竜ヶ水沖へ身投げします。一命はとりとめたものの、幕府の目から隠すために奄美大島への潜居となつた西郷どん。そこで出会つた龍郷の「愛加那」を妻とし、二人の子供にも恵まれますが、当時は本土に連れて帰れないのが撻。薩摩藩からの召還命令で三年間の結婚生活は終わりを告げました。

のちに結婚した妻「イト」は、ほとんど不在の夫に代わつて、華奢な体で西郷家の大家族を守り抜いた芯の強い女性でした。坂本龍馬夫妻も上之園の借家を訪れ、「西郷吉之助の家内も吉之助も大いによい人なれば、この方に妻など頼めば何も気づかないなし」と、西郷夫婦への信頼ぶりを姉の乙女にあてた手紙に記しています。

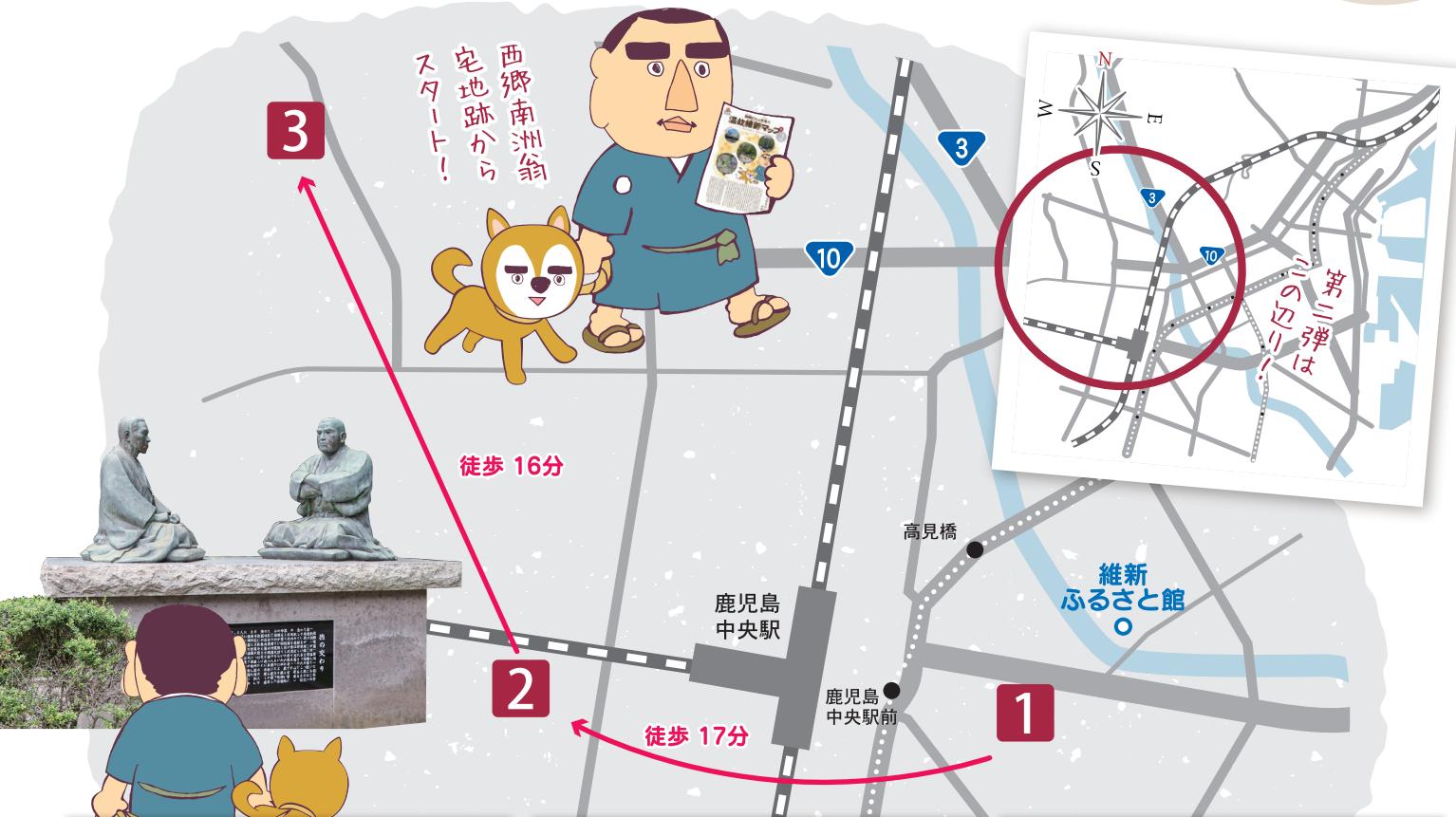
その後、明治維新の英雄と呼ばれるまでになつた西郷どん。維新後、薩摩藩の参謀の職に就き、さらに武の屋敷を譲り受けます。この時、愛加那の二人の子を引き取つて養育することに。自分の三人の子と同様、愛加那の子や弟吉三郎の子供達を立派に育てあげ、さらには西郷どんを慕つて訪れる多くの来客者の面倒まで一手に担つたイト夫人。彼女もまた、歴史の「内助の英雄」だったのかもしれません。

「（ままで）
地図として
持ち歩けます

西郷家族を支えた、
内助の功

た西郷どん。上申した意見書が藩主斎彬公の目に留まり、下級武士ながら江戸勤務の「庭方役」に大抜擢。その存在感を發揮していきました。ところが、取り立ててくれた斎彬公が急死し、失意のどん底に。近衛家から保護を頼まれていた月照上人を匿うことができなくなり、共に竜ヶ水沖へ身投げします。一命はとりとめたものの、幕府の目から隠すために奄美大島への潜居となつた西郷どん。そこで出会つた龍郷の「愛加那」を妻とし、二人の子供にも恵まれますが、当時は本土に連れて帰れないのが撻。薩摩藩からの召還命令で三年間の結婚生活は終わりを告げました。

西郷さんが生まれ育ったところを、 さるいてみよう！



1 西郷南洲翁宅跡 ※共研公園

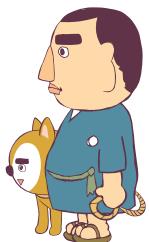
西郷一家が安政2年に加治屋町の屋敷を売却して移り住み、武の屋敷に移るまで十数年過ごしたところです。
坂本龍馬夫妻もこの屋敷を訪れました。

2 西郷武家屋敷跡

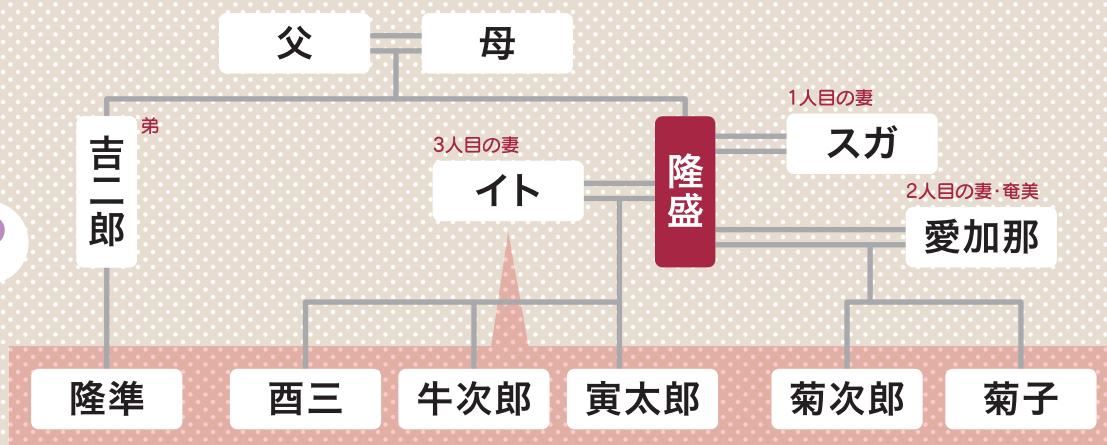
明治6年から約4年間住んだ屋敷。西南戦争で焼失しましたが、当時の井戸が残っています。
庄内藩出身の菅実秀と一緒に語り合う姿の銅像が建立されています。

3 西郷家の墓

西郷隆盛の祖先とその一族の墓地が、23基も並んでいます。隆盛と愛加那の子、菊次郎もここに眠っています。



西郷家の
家系図を
見てみよう！





維新ふるさと館 来年1月リニューアルオープン

維新ふるさと館の「幕末探訪・郷中教育コーナー」が生まれ変わります。当時の郷中教育を映像の中で体験できるインタラクティブ※ゾーンの誕生です。

川遊び、自顕流、詮議(せんぎ)…幼少期～青年期の西郷隆盛達が体験した遊び、教えをあなたもぜひ体感してください。

リニューアルオープンは、来年1月上旬予定。リニューアル工事期間中(10月中旬～来年1月上旬)は、幕末探訪・郷中教育コーナーを中心とした1階展示をご覧いただけなくなります。

なお、地階の維新体感ホールなどは通常通りご観覧いただけます。



上／体験していくやんせ「郷中教育」・魚とり(イメージ)
下／おじやつたもんせ通り(イメージ)

※インタラクティブとは…双方向システムの導入によりプロジェクターで床等に投影された映像が人の動きにリアルタイムに反応するシステム

西郷どん 大河ドラマ館 来年1月13日オープン

当館と同じ加治屋町の鹿児島市立病院跡地に平成30年1月13日(土)から平成31年1月14日(月・祝)まで開館します。入場料は大人(高校生以上)600円、小人(小・中学生)300円です。

ドラマで実際に使用された小道具や衣装の展

示、ロケメイキング映像の上映、ストーリーやキャスト紹介のパネル等の展示、撮影セット展示や記念撮影ポイントなど、大河ドラマの世界観を体験できます。



●お得な前売販売(大人480円、小人240円)を実施中。当館でも販売中
●詳細は「明治維新150年“維新のふるさと鹿児島市”」のホームページをご覧ください

■お問い合わせ: 西郷どん 大河ドラマ館
入場券販売管理センター
■電話 : 099-808-3153(さいごーさん)

※デザインは今後変更する場合があります



企画展 “西郷どんの顔”展 好評開催中!

あれだけの偉業を成していくながら、なぜ西郷隆盛の写真は残されていないのか?

黎明館、西郷南洲顕彰館、鹿児島市立美術館の協力により、エドアルド・キヨソネ、床次正精、大牟礼南塘、佐藤均、服部英龍、肥後直熊らにより没後描かれた西郷の肖像画パネルを一堂に展示。併せてオブジェやイラストレーター篠崎理一郎氏による西郷画などもご紹介いたします。

皆さまの心に宿る西郷隆盛像を、より具体的な「顔」にしていただければ幸いです。

西郷どんの不思議な魅力 イラストレーター 篠崎 理一郎氏

時代を経ても変わらず人々から愛され続ける、その不思議な魅力はなんだろう。

ふと思い、彼の頭の中を探ってみました。

生い立ちを紐解いていくと、自分のためでなく人のために生きる、という一貫した生き様が惹きつける魅力の大きな1つのように感じられます。

現代の私たちにとって過去の歴史を改めて調べてみると、身の回りの問題など解決する糸口や新しい発見があるかもしれません。西郷さんを通して、是非自分なりの鹿児島の魅力を感じていただけたら幸いです。



©下園 詠子



●自分なりの西郷像をみつけてほしい

今回の企画展開催にあたり、若手イラストレーター篠崎理一郎氏に彼がイメージする西郷の顔を制作してもらいました。精密に描かれた西郷画、ぜひご覧ください。

- 会期：開催中 9月10日(日)まで
- 入館料：大人300円／小人150円

西郷さんの体格と陸軍大将制服 イチオシ

西郷さんは、相撲取りのように大柄の人であったという話はよく聞きますが、具体的な体格を記録した資料が、土佐藩の御用商人竹村屋の古文書に残されています。それによると、目測で「背の高さ五尺八、九寸計り(七六)」出典はあきらかではないものの田中惣五郎著「西郷隆盛」には「身長五尺九寸九キロ強」、カラー「九半(首回り四八センチ強」と記載されています。当時としては、やはりかなり目立つ存在であったことが分かります。

その西郷さんの身につけたといわれる西郷さんは、明治二〇年一月の西南戦争勃発に際し、陸軍大将の制服を着用して出陣、敗戦により延岡で解兵を指示しました。俵野の児玉熊吉宅で可愛岳突破の軍議を開いたのち、陸軍大将の制服を焼いてしまいました。



●着てみると、西郷さんの大きさが体感できます

昭和二年、西郷隆盛没後五〇年祭に当たって、銅像建立が企画され、鹿児島出身の彫刻家安藤照が制作することになりました。安藤は、その際西郷家に残されていた陸軍大将の制服をモデルにしたと言われます。現在、その制服は県歴史資料センター黎明館に保管されています。

「陸軍大将」の制服を復元、着用して記念撮影できるコーナーを維新ふるさと館に設置しています。西郷さんは明治六年六月、篠原国幹指揮の大和田原(のちの習志野)陸軍大演習に参加しました。暴風雨の中で展開される演習を閲兵される明治天皇の護衛を務めていたので、すっかり雨で濡れてしまつた制服の代わりに、後日新たに着を新調、二着の制服を所有していました。

西郷さんは、明治二〇年一月の西南戦争勃発に際し、陸軍大将の制服を着用して出陣、敗戦により延岡で解兵を指示しました。俵野の児玉熊吉宅で可愛岳突破の軍議を開いたのち、陸軍大将の制服を焼いてしまいました。